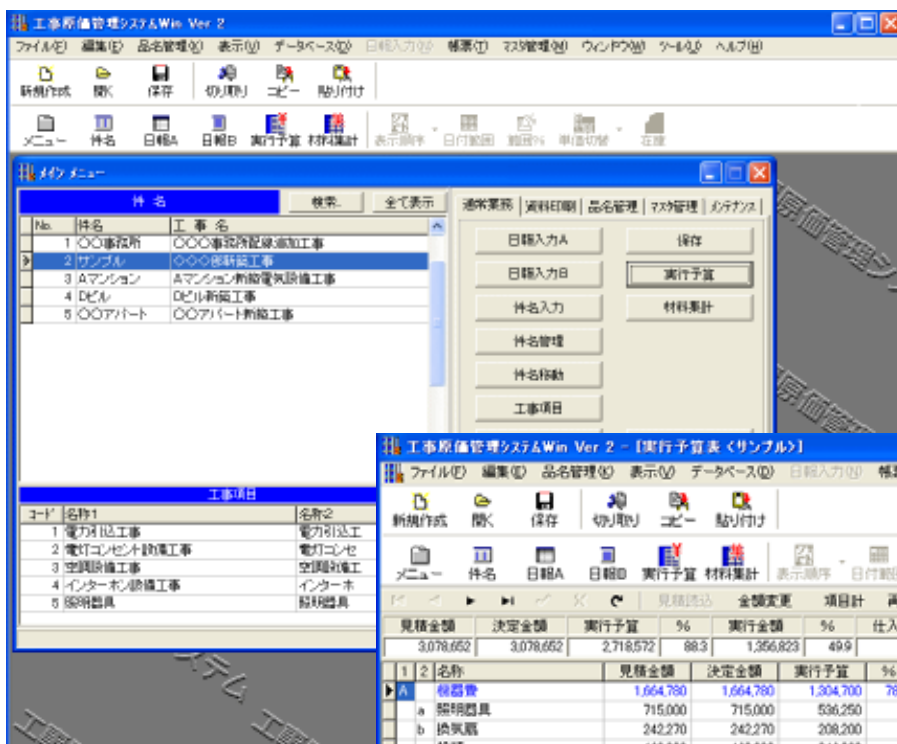


工事原価管理システム

Ver.2



工事原価管理システムWin Ver.2 - [実行予算表<マンション>]

見積金額	決定金額	実行予算	%	実行金額	%	仕入金額	%			
3,078,652	3,078,652	2,718,572	88.3	1,356,823	49.9	933,405	34.3			
1	2	名称	見積金額	決定金額	実行予算	%	実行金額	%	仕入金額	%
A	a	機器費	1,664,780	1,664,780	1,304,700	78.4	862,160	66.1	849,140	65.1
	a	照明器具	715,000	715,000	536,250		282,000	52.6	282,000	52.6
	b	換気扇	242,270	242,270	208,200		170,260	81.8	157,240	75.5
	c	盤機	469,200	469,200	346,800		285,600	82.4	285,600	82.4
	d	電力機器								
	e	TV機器	238,310	238,310	213,450		124,300	58.2	124,300	58.2
	f	防災・防犯機器								
	g	放送・情報機器								
B		材料費	218,672	218,672	218,672	100.0	116,663	53.4	84,265	38.5
	a	電線・ケーブル	96,220	96,220	96,220		59,671	62.0	36,140	37.6
	b	電線管	18,600	18,600	18,600		6,435	34.6		
	c	電線管付属品	10,617	10,617	10,617					
	d	ボックス	43,485	43,485	43,485		38,110	87.6	41,920	96.4
	e	ケーブルラック								
	f	配線器具	49,750	49,750	49,750		12,447	25.0	6,205	12.5
	g	屋外配線材料								
	h	閉路器								
C		材料費計	1,883,452	1,883,452	1,523,372	80.9	978,823	64.3	933,405	61.3
D		労務費	1,048,700	1,048,700	1,048,700	100.0	378,000	36.0		
a		労務費	1,048,700	1,048,700	1,048,700		378,000	36.0		

特徴及び仕様

工事原価管理システム Windows版の概要及び仕様

□ 「工事原価管理システム」とは

工事現場で掛かった材料費・経費を集計するソフトウェアです。

◆例えば、この様な時に使用すると便利です。

- 1) 毎日、現場で使った材料や経費を日報につけているが、集計が面倒であり役に立っていない。
- 2) 受注した金額に対して、いくらで完成したのか現場ごとに計算したい。
- 3) 工事に掛かった材料費・人件費・その他経費等を現場別に集計したい。
- 4) 見積書で計算した電線・ケーブル・パイプなどが、実際の工事でどれだけ使われたかを見積書の数量と比べてみたい。
- 5) A社から現場別に仕入れた1ヶ月分の材料を集計して、請求書とチェックしたい。
- 6) 良く使う定番の材料は在庫にしておきたいが、1・2ヶ月間でどのくらい使っているかを調べたい。

□ システムの内容について

1. 工事件名の登録

これから工事を始める件名を登録します。「見積エースWindows版」で作られた見積書があれば、その見積書を利用することができます。

1 件名	サンプル	11 元 請	
2 見積No.	サンプル01	12 下 請	
3 登録日	平成 17年 7月 12日	13 工 期	平成 17年 7月 1日~ 平成 17年 9月 30日
4 工事名	◇◇◇邸新築工事	14 処 理	<input type="radio"/> 一括処理 <input checked="" type="radio"/> 項目別処理
5 場 所	金沢市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	15 予算番号	1 電気工事用
6 受注先	1 ☆☆☆建設株式会社	16 概要 1	**** サンプル ****
7 施 主		17 概要 2	
8 設 計	1 〇〇設計	18 概要 3	サンプルです
9 担 当	100 松下 太郎		
10 仕入先			

1 件名を工事項目に分けて管理することができます。

<例> 一括処理

〇〇〇邸 新築工事 実行予算 管理資料

工事項目別処理

〇〇〇マンション 新築工事

電力引込工事	実行予算	管理資料
電灯コンセント工事	実行予算	管理資料
TV共聴設備工事	実行予算	管理資料
合 計	実行予算	管理資料

(最大200項目)

— 件名の登録で記入できる項目 —

工事名・工事場所・受注先・施主・設計・担当・仕入先・元請・下請・
工期・工事概要

2. 実行予算の設定

1. で登録した件名の予算額を入力します。

1	2	名称	見積金額	決定金額	実行予算	%	実行金額	%	仕入金額	%
		見積金額	3,078,052	3,078,052	2,718,572	88.3	1,356,823	49.9	933,405	34.3
A		機具費	1,064,780	1,064,780	1,304,700	78.4	802,160	66.1	849,140	65.1
	a	照明器具	715,000	715,000	596,250		282,000	52.6	282,000	52.6
	b	換気扇	242,270	242,270	200,200		170,260	81.8	157,240	75.5
	c	盤類	469,200	469,200	346,800		285,600	82.4	285,600	82.4
	d	電力機器								
	e	TV機器	230,310	230,310	213,450		124,300	59.2	124,300	59.2
	f	防災・防犯機器								
	g	放送・情報機器								
B		材料費	218,672	218,672	218,672	100.0	116,663	53.4	84,265	38.5
	a	電線・ケーブル	96,220	96,220	96,220		59,671	62.0	36,140	37.6
	b	電線管	18,600	18,600	18,600		6,435	34.6		
	c	電線管付属品	10,617	10,617	10,617					
	d	ボックス	43,485	43,485	43,485		38,110	87.6	41,920	96.4
	e	ケーブルラック								
	f	配線器具	49,780	49,780	49,780		12,447	25.0	6,205	12.5
	g	屋外配線材料								
	h	開閉器								
C		材料費計	1,003,452	1,003,452	1,523,372	80.9	978,823	64.3	933,405	61.3
D		労務費	1,048,700	1,048,700	1,048,700	100.0	378,000	36.0		
	a	労務費	1,048,700	1,048,700	1,048,700		378,000	36.0		

- 実行予算は、率で入力できます。
- 画面上で直接金額の入力ができます。
見積書があれば見積金額、原価を利用できます。
- 予算表の分類は自社で自由に設定できます。
予算表の分類は複数パターン登録でき、件名で使い分けることができます。

画面右の実行金額（実際の工事で使用された金額）と仕入金額は、日報入力された明細書を集計した金額が、自動で計算され表示されます。

3. 日報の入力

日報入力画面は2種類の入力パターンを用意！！

指定した件名の明細を一覧表示し、追加・修正・削除ができるAタイプ。
追加入力のみで件名を切り替えながら入力できる伝票入力形式のBタイプ。



日々使われる材料・経費を件名ごとに入力します。入力画面には、見積システムと同様に品名マスターが表示されています。

見積書があれば見積明細を表示し、選択入力できます。

入力された材料・経費は実行金額として実行予算表の分類に集計されます。

入力項目

日付

工事項目番号 (項目別件名のみ)

品名コード (品名マスターに未登録の材料も直接入力できます。)

品名 (材料・経費の名称、全角32文字)

数量 (6桁+小数点以下3桁まで)

原価 (8桁+小数点以下1桁)

仕入区分・仕入先・品番 (半角16文字)・品種コード・単位 (漢字2文字)

便利な材料ガイドを表示！

明細入力中に登録されている材料や経費を選択するための材料ガイド



工事原価管理システム Windows版の概要及び仕様

表示行数・行列は画面にあわせて自由に変更

The image shows two side-by-side screenshots of the '材料がけ' (Material List) window. Both windows show a table of materials with columns for '品コード順' (Material Code Order), '品番順' (Material No. Order), and '品交換' (Material Exchange). The first window shows a list of materials from 1001 to 1006. The second window shows a list of materials from 1001 to 1021, with the search results for '鋼製電線管' (steel conduit) highlighted.

「検索」を使って特定の材料を絞り込むことができます。

The image shows a screenshot of the '材料がけ' (Material List) window with the search function active. The search criteria are: '品番の頭文字' (Material No. Head Character) set to 'VVF', '含まれる文字' (Characters Included) set to '20', and '単価' (Unit Price) set to '~'. The search results show two items: '6037 ビニル絶縁ケーブル VVF-2.0mm×20' and '6040 ビニル絶縁ケーブル VVF-2.0mm×30'.

検索は品番の先頭の文字や、品番の中に含まれる文字を指定できます

単価の指定もできます

検索で探し出された材料だけが表示されます

4. 材料の集計

The image shows two screenshots of the '材料集計表' (Material Summary Table) window. The first screenshot shows a detailed list of materials with columns for 'No.', 'コード' (Code), '名称' (Name), '見積数量' (Estimate Quantity), '原価数量' (Original Cost Quantity), '数量' (Quantity), '単位' (Unit), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), and '品番' (Material No.). The second screenshot shows a summary of the materials, with columns for 'No.', 'コード' (Code), '名称' (Name), and '金額' (Amount).

No.	コード	名称	金額
1	100	電線・ケーブル	59,671
2	200	電線管・付属品	6,435
3	400	ボックス	38,110
4	700	配線器具	12,447
5	1000	盤類	285,600
6	1100	照明器具	282,000
7	1200	換気扇	170,260
8	1300	TV・インターフォン機器	124,300
9	9900	労務費・諸経費	378,000

○集計は自動で行います。集計された金額は画面でも確認でき、プリントアウトできます。

○長期にわたる件名も集計する期間を設定し、集計・プリントアウトできます。

○日締め・月締め等の面倒な更新処理は一切ありません。

○見積書があれば見積数量に対して使用した数量を材料ごとに比較できます。

○材料・経費の分類ごとに金額も表示印刷できます。

○明細の集計は品種順（材料コード順）と、自社で設定した予算表設定順の2パターンで表示できます。

5. 見積エースとの連動

- 品名マスター・得意先マスター・工事項目マスター・単位マスターは、共通に使うことができます。
- 日報入力された明細を見積エースで読み込むことができます。この時、日付(期間)や特定の材料の指定ができます。
- 見積エースで読み込んだ後は、通常の見積書と同様に自由に編集でき、見積書や請求書として印刷できます。
- 原価管理システムでの日報入力では材料等は原価を入力しますが、原価とは別の受注単位を入力できます。受注単価が入力された件名を見積エースに出力すると、見積単価には受注単価が反映されます。
- 日報入力時に見積書の明細を表示し、呼び出すことができます。

6. 豊富な品名マスター

明細入力時に「材料ガイド」と表示される品名マスター（材料・経費の名称や単価をあらかじめ登録しておくマスター）は、

最大90分類。

（分類方法は自由。例えば、材料の種類別に分類したり工事の工種別に分類したり、ユーザーにあわせて変更できます。）

さらに複数の品名マスターを用意し、明細入力中に品名マスターを変換し、材料を呼び出すことができます。

<付属の品名マスター>

電気工事用 品名ディスク 電器設備工事 積算基準実務マニュアル2004
(約6700点) 全日出版社

設備工事用 品名ディスク 機械設備工事 積算基準実務マニュアル2004
(約5600点) 全日出版社

（電気工事用の品名マスター及び設備工事用品名マスターがシステムに付属されています。両マスターともオプションの販売もいたしております。）

<オプションの品名マスター>

松下電工 住宅照明 品名ディスク National 松下電工
(約4100点) 住宅用照明器具 2004-2005 (カタログNo.昭A-191)

松下電工 施設照明 品名ディスク National 松下電工
(約9400点) 施設・店舗・屋外照明 2003-2005 (カタログNo.昭A-187)

松下電工 電設資材 品名ディスク National 松下電工
(約28300点) 電設資材 2004-2006 (カタログNo.ZFCT1A188)

松下電器 換気扇 品名ディスク National 松下電器
(約3400点) 換気・送風・熱交機器 環境総合カタログ2004

大光電機 照明器具1 品名ディスク DAIKO Life
(約3000点) STYLISH LIGHTING LIFT 2004-2005

大光電機 照明器具2 品名ディスク DAIKO D's PRO
(約3700点) D's PROFESSIONAL LIGHTING

工事原価管理システム Windows版の概要及び仕様

7. 資料印刷

印刷資料の種類

印刷資料には件名別のものと、 工事中の全ての件名を対象にしたものとがあります。

○件名別資料

実行予算表・材料集計表・工事日報明細表・工事台帳・件名別仕入明細表・原価明細書

○全件名資料

件名一覧表・材料集計表・受注先別明細表・仕入先別明細表・件名在庫一覧表

◆その他、こんな集計表が印刷できます

○工事毎に集計

工事日報表・件名別仕入明細表・件名在庫一覧表・原価明細表・工事台帳

工事日報明細表
印刷: 17年7月19日 (P. 1/1)

年月日	品名	数量	単価	金額	仕入先	仕入日	仕入元	仕入先	仕入日	仕入元
170719

工事台帳
印刷: 17年7月19日 (P. 2/2)

品名	数量	単価	金額	仕入先	仕入日	仕入元	仕入先	仕入日	仕入元
1

○全ての工事を対象 仕入先別明細表

(1ヶ月前にA社から仕入れた材料の明細を全て集計し、請求書とのチェックに使用する)

仕入先別明細表
印刷: 17年7月19日 (P. 1/1)

年月日	品名	数量	単価	金額	仕入先	仕入日	仕入元
170719

材料別集計表

(特定材料を指定して、その材料が1ヶ月(期間の指定は自由)にどれだけ使用されているかを集計する)

材料別集計表
印刷: 17年7月19日 (P. 1/1)

品名	数量	単価	金額	仕入先	仕入日	仕入元
1

受注先別明細表 (特定の受注先を指定して、その受注先の現場の明細だけを集計する)

件名一覧表 (現在工事中の現場の一覧)

保存件名一覧 (工事が終了した現場の一覧)

8. 各印刷帳票のレイアウトの設計・変更が可能

工事原価管理システムVer.2で、新たに帳票作成「レポートエディタ」を搭載！！
自社に合わせて、印刷帳票のレイアウトが設計できます。

年/月/日	品種	名	計量単位	単価	金額	仕入金額	仕入単価
09/01/19	0000	00000	00	品名	000,000	000,000	000,000
合計					00,000,000	000,000,000	000,000,000

名	見積金額	決定金額	実行予算	%	実行金額	%
式分類名	00,000,000,000	00,000,000,000	00,000,000,000	000	00,000,000,000	000
式分類名	小計	00,000,000,000	00,000,000,000	000	00,000,000,000	000

No. 項目	選択項目
1 実行予算分組名	1 実行予算分組名
2 実行予算分組名	2 実行予算分組名
3 小分類名/計算式	3 小分類名/計算式
4 見積金額	4 見積金額
5 決定金額	5 決定金額
6 実行予算	6 実行予算
7 実行予算+決定金額	7 実行予算+決定金額
8 実行金額	8 実行金額
9 実行金額+実行予算	9 実行金額+実行予算

罫線と中に配置するアイテムを同時に設定できます。

工事原価管理システム Windows版の概要及び仕様

機 能	仕 様
件 名	件名番号：12文字 見積番号：12文字 工事名：漢字32文字 工事場所：漢字32文字 受注先：漢字32文字 施 主：漢字16文字 設 計：漢字16文字 仕入先：漢字16文字 元 請：漢字16文字 下 請：漢字16文字 担当者：漢字10文字 工事概要：漢字18文字×3行 登録日付：工期
実行 予算表	<ul style="list-style-type: none"> ■自社に合わせた設計可能 ■設定は複数登録可能。 件名ごとに設計パターンを変更可能 ■小計・合計：材料費計/経費計/直接工事費/純工事費等 (計算式の設定可能) ■大分類：機器費/材料費/労務費/現場経費/一般管理費等 ■小分類：電線/ケーブル/電線管/照明器具/配線器具等 ■小分類ごとに見積金額・決定金額(受注金額)・実行予算金額の設定可能 ■実行予算表の分類ごとに実行金額(実際に工事で使用された金額)・仕入金額を自動計算 ■一件名を最大200の工事項目に分けて設定可能
日報 入力	入力画面 <ul style="list-style-type: none"> ■日付、 工事項目番号、 品種、 品名コード、 仕入先コード ■品 番：半角64文字 ■名 称：漢字32文字 ■数 量：6桁+小数点以下3桁迄 ■単 位：漢字2文字 ■原 価：8桁+少数点以下1桁
	参照機能 <ul style="list-style-type: none"> ■品名マスター、 件名仕入明細、 他件名仕入明細、 見積明細
	編集機能 <ul style="list-style-type: none"> ■入力明細を一覧表示 ■修正・削除・追加が画面上でおこなえます ■複数の件名の日報明細画面をウィンドウ表示可能

工事原価管理システム Windows版の概要及び仕様

機能		仕様
集計画面	実行予算表	<ul style="list-style-type: none"> ■見積金額・決定金額(受注金額)・実行予算・実行予算率 ■実行金額(実際に工事に使用された材料・経費の集計) ■仕入金額(実行金額・仕入金額は日報入力された明細をリアルタイムに集計) ■工事項目別に表示可能 ■予算表の分類設定パターンを自社用に複数設定可能
	材料集計表	<ul style="list-style-type: none"> ■日報入力された明細を材料・経費の明細ごとに集計 ■見積明細があれば見積数量に対して実際にどれだけ使用されたかがひと目で分かります ■材料・経費の分類ごとの金額も表示 ■期間を指定して集計可能
資料印刷		<ul style="list-style-type: none"> ■実行予算表(実行金額・仕入金額等の出力設定可能) ■材料集計表(材料・経費の分類だけの出力も可能) ■工事台帳・工事日報明細表・原価明細書・件名一覧表・件名在庫一覧表 材料別集計表・受注先別明細表・件名別仕入明細表・仕入先別明細表・ 実行予算表設定・品名マスタ
品名編集	品名構成	<ul style="list-style-type: none"> ■1品名マスター内を90に分類、1分類に999材料登録可能 ■品名マスターを最大2000マスター同時運用可能 ■同一材料を重複登録可能(提出先マスター等) ■品種ごとに複合単価式で設定可能(見積エース用) ■品種ごとに付属品・消耗品の率を設定可能(見積エース用)
	登録項目	<ul style="list-style-type: none"> ■品種コード：4桁(材料の分類) ■品名コード：5桁 ■品番：16文字 ■名称：漢字32文字 ■単位：漢字2文字 ■単価・原価：8桁+小数点以下1桁
	編集機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ブロック単位に移動・複製・削除・挿入・印刷可能 ■単価・原価・歩掛の掛率による一括変更可能 ■編集中の品名マスターから、別の品名マスターへの複製可能 ■品名・品番内の文字の置き換え
	コンバート	<ul style="list-style-type: none"> ■品名マスターをテキスト型式でファイルに入出力できます。 ■建設物価データベース(単価データファイル)を品名マスターに変換できます
見積エースVer.4との連動(※1)		
<ul style="list-style-type: none"> ■品名マスターをはじめ、受注先(見積提出先)マスター、単位、工事項目名、担当者の各マスターを共通に使用できます。 ■原価管理システムの件名登録時に見積エースで作成された見積書を読み込むことができます。 ■原価管理システムの日報明細を見積エースの見積明細にコンバート可能。 (日報明細の中から日付や、特定の材料・経費を指定してコンバートが可能) コンバート後は見積エースで加工し請求書等で出力可能。 		

※1 見積エースとの連動には見積エース Windows版 Ver.4が必要です。

工事原価管理システム Windows版の概要及び仕様

□ 動作環境

対 応 機 種 : Microsoft Windows / 98 / Me / Xp日本語版
又はMicrosoft Windows 2000日本語版が稼働する機種
本体CPU : i486 TMDX2 66MHz以上
(pentium™ 133以上を推奨)

メ モ リ : 128MB以上を推奨

ハードディスク : 1GB以上の空き容量

ディスプレイ : 800×600以上(256色以上)
1024×768を推奨

以上
平成17年 10月現在

開発元 有限会社アクセスソフトウェア
サポートセンター
TEL(076)291-9040
FAX(076)291-9098
ホームページアドレス
<http://www.access-soft.co.jp/>